

10月28日/14:00～16:00 木村威夫氏（美術監督）による

＜映像美術の変遷と未来＞

木村威夫 (Takeo Kimura) : 美術監督・映画監督

— Profile —



日本映画・テレビ美術監督協会顧問、日本映像協議会 JVA 大賞審査委員長、京都造形芸術大学・東京工芸大学客員教授、日活芸術学院学院長 他。
 1918年4月1日生まれ。青山学院中学部卒。1935年、舞台美術家・伊藤憲朝先生に師事。
 1941年、日活多摩川撮影所入社。その後大映に移り、戦後は新生日活、独立プロで活躍。
 1973年、フリーとなる。
 「海の呼ぶ声」(1944)「雁」(1953)「或る女」(1954)「けんかえれじい」(1966)「ツイゴイネルワイゼン」(1980) など約240本を担当。その間、鈴木清順監督とのコンビで魅力的な様式映像を創造。
 1990年、ニューヨークのジャパン・ソサエティーで「木村威夫映画美術フェスティバル」が開かれた。
 1992年11月には、勲四等旭日小綬章を授与される。
 2002年12月～2003年1月には川崎市民ミュージアムにて「映画美術監督木村威夫の世界一夢幻彷徨」を開催。
 2004年には短編映画「夢幻彷徨」で映画監督デビュー、以後「街」(2004)「OLD SALMON 海を見つめて過ぎた時間」(2006)「馬頭琴夜想曲」(2007)を発表。
 2008年10月には、初の長編作品「夢のまにまに」が公開決定。
 毎日映画コンクール美術賞、広告電通賞、映画評論美術賞、日本アカデミー賞最優秀賞など多数受賞。
 映画美術60年の現場のありつたけを語りつくした「映画美術 擬景・借景・嘘百景」(ワイズ出版刊) 小説「月下芒芒狐之図」(ワイズ出版刊) など数々出版し、著者としても活躍。

11月1日/14:00～17:00 種田陽平氏（美術監督）による

＜映画「ザ・マジックアワー」における美術の創造＞

種田陽平 (Yohei Taneda) : 美術監督 (Production Designer)

— Profile —



大阪府生まれ。武蔵野美術大学油絵科卒業。
 在学中より寺山修司監督「上海異人娼館」(80)などに参加、映画界に入る。
 主な作品に、
 岩井俊二監督「スワロウテイル」(96)、「花とアリス」(04)、
 香港電影金像賞最優秀美術賞を受賞したリー・チー・ガイ監督「不夜城」(98)
 長崎俊一監督「死国」(99)
 クエンティン・タランティーノ監督「KILL BILL vol.1」(03)
 押井守監督「イノセンス」(04)
 土井裕泰監督「いま、会いにゆきます」(04)
 三谷幸喜監督「THE 有頂天ホテル」(05)
 李相日監督「フラガール」(06)
 中田秀夫監督「怪談」(06) など、ヒット作話題作多数。
 最近作に今年6月公開した三谷幸喜監督「ザ・マジックアワー」。
 現在は、根岸吉太郎監督「桜桃とたんぽぽ〜ヴィヨンの妻」の撮影中。
 自身のアートワークをまとめた「ホット・セット」(メディアファクトリー刊)、
 「TRIP for the FILMS」(角川書店)が発売中。

他のパネラー

【予定】

- 宇津木 一郎 (大道具)
- 鍵和田 正樹 (美術製作)
- 松井 英治 (塗装)
- 田中 宏 (装飾)
- 坪井 一春 (組付)

※入場券の前売り発売はいたしません。

※両セミナーとも、当日11時よりキャロットタワー1Fにて

整理券を配布いたします。

申し訳ございませんが、会場は定員(約100名)に限られております。

整理券をお持ちでない方は入場出来ませんので、あらかじめご了承ください。

整理券をお持ちの方のみ、13時30分より5Fのセミナー会場入口で整理券と

引き換えにチケットの販売をいたします。

学生の方は身分証明書をご持参ください。



セミナー入場料 …… (一般) 1,500円 (学生) 500円

フェスタ会期中のお問い合わせ先 03-5350-4027(日本映像美術協議会) セミナーに関するお問い合わせ先 090-2300-3871